

会 議 録

平成 30 年 3 月 12 日調製

審議会等名	平成 29 年度 第 2 回三条市文化財保護審議会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成 30 年 2 月 20 日（火）午前 10 時から 11 時 30 分まで		
開催場所	三条市中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	
出席者	審議会委員 荒木会長、渡辺副会長、石澤委員、岩田委員、岡村委員、熊倉委員、佐藤委員、高橋委員、長谷川委員、平山委員、松岡委員、六原委員		
	事務局 金子生涯学習課長、齋藤課長補佐、田村係長、勝山主任		
欠席者	関委員、松井委員		
議題	(1) 赤松遺跡出土岩偶の三条市指定文化財の指定について		
会議内容	(1) 赤松遺跡出土岩偶の三条市指定文化財の指定について		
荒木会長	事務局より説明願いたい。		
事務局	<p>三条市文化財保護条例の規定により、三条市指定文化財の指定について三条市教育委員会から平成 30 年 1 月 24 日付けで、三条市文化財保護審議会あてに諮問があった。</p> <p>諮問の指定物件は赤松遺跡出土品であり、種別は有形文化財の考古資料、員数は 1 点、所有者は三条市となっている。昭和 48 年に三条ジュニア考古学クラブの赤松遺跡表面採集調査時に中学生が採集したものである。</p> <p>現在、三条市歴史民俗産業資料館で開催中の『遺跡発掘調査速報展 2018』の中で特別展示を行っているので、展示会場に移動していただき、現物を御見学いただきたい。</p>		
荒木会長	三条市歴史民俗産業資料館へ移動し、諮問物件の赤松遺跡出土岩偶を見学することとする。		
	(マイクロバスで三条市歴史民俗産業資料館へ移動し、赤松遺跡出土岩偶を見学。見学後、マイクロバスで三条市中央公民館へ移動。)		
荒木会長	それでは審議を再開する。引き続き事務局から説明願いたい。		
事務局	先ほど三条市歴史民俗産業資料館で御覧いただいたように、赤松遺跡出		

	土岩偶は、新潟県内では極めて希少な遺物であり、縄文時代後期末から晩期中葉の呪術的世界を物語る貴重な出土品となっている。このことから、三条市を代表する考古資料として保存・活用を図る必要があり、三条市指定文化財の指定について諮問されたものである。
荒木会長	三条市歴史民俗産業資料館で実物を見学し詳細な説明を聞き、大変貴重なものだった。
松岡委員	類例が少なく、非常に珍しいものである。
熊倉委員	出土数が少なく、希少的価値があると感じている。顔の形がはっきりしていて、児童たちがこのようなものを昔の人たちが作っていたのだということを学習するのにも貴重な資料となる。
荒木会長	中学生が発見したということであるが、その頃から地域の歴史に関心を持つことは大切なことである。
荒木会長	他に質問、意見はあるか。
	(質疑、意見なし)
荒木会長	諮問のあった赤松遺跡出土岩偶について、文化財保護審議会として三条市指定有形文化財に指定することが適当であると答申することによろしいか。
	(異議なし)
荒木会長	三条市指定有形文化財に指定することが適当であると答申する。
荒木会長	これで閉会とする。

以上